

主婦の就業に関する
意識調査

昭和57年3月

ボ－ラ文化研究所

1 調査の趣旨

日本は現在、物質的には豊かな社会になった。その中で女性、特に主婦が社会に進出しようとしているが、その動機は何なのか。職業を選択するときの職種別のイメージはどうか、また、就業しようとするときの阻害要因は何なのか、さらに就業を継続していく上でのプラス要因、マイナス要因は何なのか、など主婦の就業をとりまく諸問題を明らかにするのが、本調査の目的である。

2 調査の概要

調査地域	東京及びその郊外	
調査対象	20代～50代の主婦	1,000名
	有効回答数	836
調査時期	昭和56年12月	
調査方法	アンケート方式	

〈 結 果 の 概 要 〉

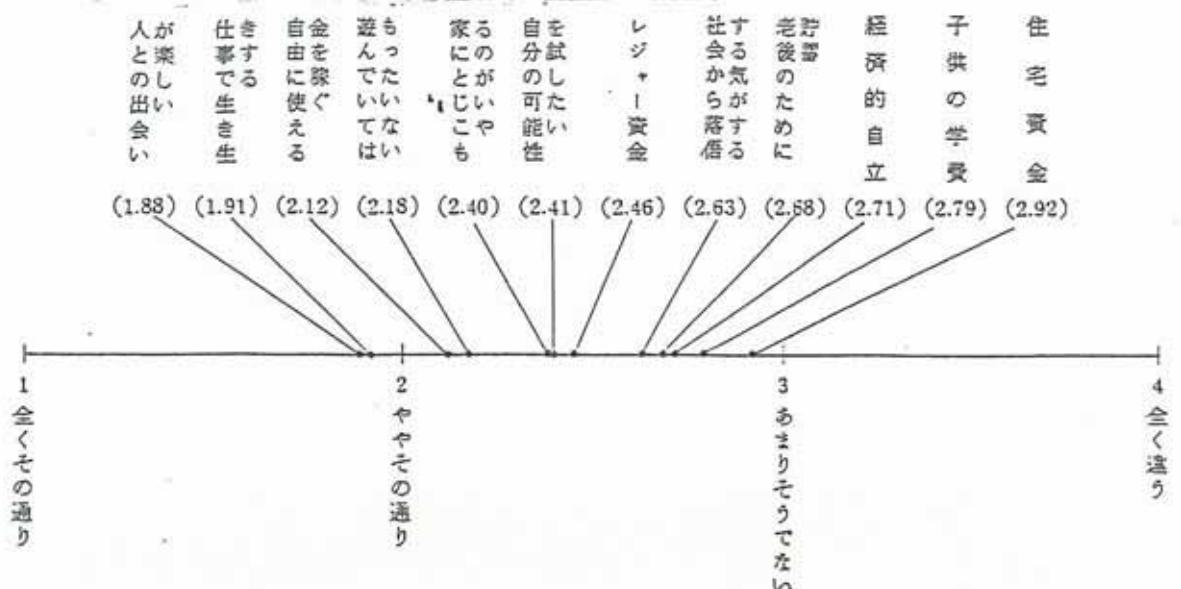
- 1 主婦の就業の動機
精神的には「人との出会い」、実質的にはクォリティ・オブライフ
- 2 主婦の就業への障害
足カセは、やはり子供
- 3 職場での展望
管理職（マネージャー）より専門職（スペシャリスト）
- 4 仕事上の喜び
仕事への興味より、仕事を通しての人間関係
- 5 収入の行方
年代により異なる使途
- 6 希望職種
高校卒はパート、大学卒は自由業
- 7 希望収入
上野夫人は控えめ、新宿夫人は高め

※ ※ ※

1. 主婦の就業の動機

精神的には「人との出会い」、実質的にはクォリティ・オブライフ

女性の高学歴化にともない、有職女性の中での既婚者の比率は高くなっている。これら主婦の就業への動機は何の要因が強いのであろうか。12の要因についての結果は次の通りである。



これらの要因の順序もさることながら、要因相互の相関関係の強さから、次の3つにグループ分けができる。

(1) 生活を守る金を稼ぐため（生活防衛型経済的理由）

老後の貯蓄、子供の学費、住宅資金

(2) 生活を楽しむ金を稼ぐため（生活享楽型経済的理由）

自由に使える金、レジャー資金

(3) 仕事によって得られるもののため（精神的理由）

人との出会い、仕事で生き生き、遊んでいてはもったいない、家に閉じこもるのがいや、自分の可能性を試す、社会から落ちこぼれたくない、経済的自立※

※経済的自立は、(1)や(2)の経済的動機との相関性は低く、(3)の他の項目との相関が高い。前半の「経済」より「自立」という精神面での訴えが強いと考えられる。

(3)の精神的理由の中では「人との出会い」や「仕事で生き生き」が一番強く、いかにも女性らしい回答であった。「経済的自立」は全体平均ではあまり強い動機ではないが、4年制大学卒業者には、強い動機となっている。

表一 1 学歴と就職の動機

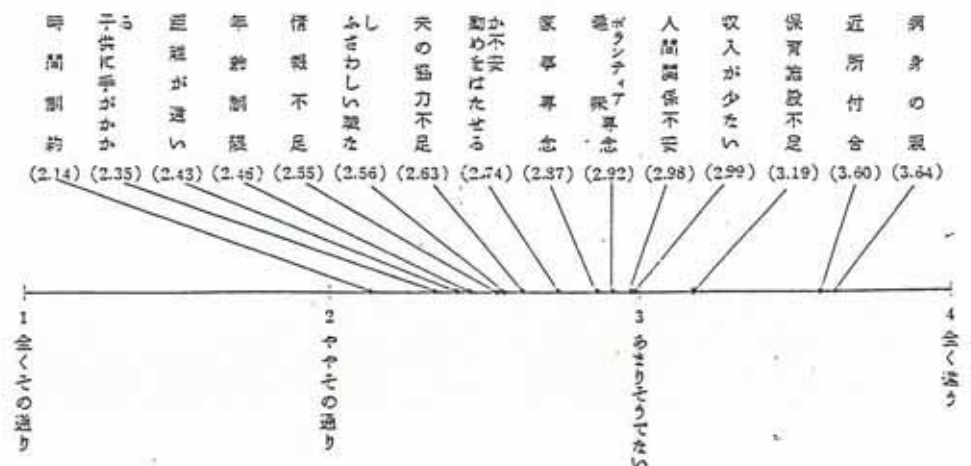
1—肯定 否定—4

学 歴		中 学	高 校	専 門 校	短 大	4 年 制 大 学	
						文 化 系	理 科 系
就業の動機	経済的自立	2.50	2.85	2.77	2.69	2.10	1.85

経済的動機の中では、(1)の生活を守るためより、(2)の生活を楽しむためのほうが、就業の動機として強い。つまり、主婦が働くのは、ローン返済や子供の学資を稼ぐというより、生活を楽しむ、生活の質を上げるために働くのであろう。

2 主婦の就業への障害

就職しようという動機があるのに、その意欲をくじいたり、さまたげになるものにどのようなものがあるのでしょうか、結果は下図の通りである。



この結果を見ると、「勤めを果せるかどうか不安」「人間関係が不安」などの精神的な面の障害より、育児を中心とした家事などによる「時間」「距離」等の物質的制約の方が明らかに大きい。そしてそれは子供（末子）の成長段階にそのまま関係している。（表一2）しかし、保育施設があればよいかといえ、必ずしもそうではない。未就園児の末子を持つ主婦は保育施設の不足を就職の障害と認めているわけではなく、気持の半分は保育施設に子供をあずけるよりは、自分の手で育てたいと思っている。

「子供」「時間」「距離」の次には、「年齢制限」や「情報不足」が具体的な障害となっている。

表一2 末子成長段階と就職の障害 1—肯定 否定—4

障害項目 \ 子供（末子）	なし	中学生以上	小学校	幼稚園 保育園	未就園児
子供に手がかかる	3.67	3.37	2.32	1.72	1.27
時間的制約	2.74	2.43	2.03	1.99	1.96
保育施設不足	3.40	3.67	3.38	2.83	2.52

3 職場での展望

—管理職より専門職—
(マネージャー) (スペシャリスト)

主婦はその職場で、どのような展望を持っているのだろうか。結果は表一3の通りである。

全体としては、主婦は職場での昇進に展望を持ってはいない。しかし、マネージャーとしてよりスペシャリストとしての展望をより強く持っている。そして、学歴が高い方が、明かるい展望を持っているといえる。

表一3 学歴と職場展望 1—肯定 否定—4

展望 \ 所属	専門職として	管理職として	昇進の展望あり
全体の平均	2.46	3.24	2.84
中学卒	3.20	3.38	3.14
高校卒	2.60	3.27	2.92
専門校卒	2.14	3.05	2.57
短大卒	2.17	3.31	2.76
4年制大(文科)	1.75	3.10	2.47
(理科)	1.54	2.62	2.23

4 仕事上の喜び

—仕事への興味より、仕事を通しての人間関係—

有職の主婦に仕事上の喜びをどのようなことに感じるか聞いた結果は表-4の通りである。

有職主婦の仕事上の喜びは「人との出会い」「仲間と会う」などの人間関係が一番強い。「仕事への興味」はあまりない。むしろ「金銭的に豊かな生活」ができることが楽しみなのである。このあたりに、仕事より家庭重視という主婦の考え方が出ている。つまり、仕事そのものよりは、仕事を通しての人間関係に喜びを見い出す傾向が強く、仕事によって、得られる金によって、生活を楽しむ方に心が動くのであろう。

しかし、「仕事への興味」は、学歴が高くなるに従って、高くなることが、はっきりうかがえる。

表-4 有職主婦の仕事上の喜び 1—肯定 否定—4

仕事上の喜び		人との 出会い	仕事仲間	自分の 向上	豊かな 生活	仕事に 興味	サンプル数 (人)
全体の平均値		1.97	2.15	2.18	2.29	2.47	366
最終 学歴	中学校	2.16	2.19	2.52	2.32	2.83	37
	高校	1.96	2.13	2.21	2.27	2.59	220
	短大	1.91	2.24	1.91	2.27	2.33	34
	専門	2.00	2.10	2.14	2.33	2.32	25
	4年制(文)	1.88	2.15	2.02	2.32	1.90	42
	4年制(理)	2.00	2.20	2.00	2.40	2.20	5

5 収入の行方

—年代により異なる使途—

有職主婦は、稼いだ金をどのように使うであろうか、全体の平均値の順位は、生活費(30.0%)、貯蓄(22.4%)、小遣い(21.6%)、住宅ローン、学費(16.4%)であるが、これは、主婦の年代によってかなり異なる。

表-5 有職主婦と収入使途

		住宅ローン 学費	小遣い	貯蓄	生活費	無解答	サンプル数
全体の平均値		16.4 %	21.6 %	22.4 %	30.0 %	9.6 %	846 人
年 別	～ 24	12.5	12.5	43.8	25.0	6.3	16
	25 ～ 29	9.7	16.1	22.6	45.2	6.5	31
	30 ～ 34	12.7	24.1	17.7	34.2	11.4	79
	35 ～ 39	19.6	20.5	25.0	28.6	6.3	112
	40 ～ 45	15.7	30.0	18.6	20.2	15.7	70
	45 ～ 49	29.0	16.1	12.9	32.3	9.7	31
50 ～	18.5	14.8	33.3	33.3	7.4	27	

たとえば、20代前半の主婦は、これからの出費にそなえて「貯蓄指向」であり、20代後半から30代前半は、収入に対して出費の比率が大きくなる年代らしく、「生活費指向」である。30代後半は、住宅ローン・学費、貯蓄、生活費、小遣い等それぞれに分散した「全方向型」である。40代前半は主人の稼ぎもあり、子供の手も離れ、パートの人も多くなるためか、「小遣い指向」が多い。40代後半は生活費も多いが、末子の大学に金がかかるらしく「学費指向」である。50代に入ると、老後にそなえての「貯蓄指向」となっていく。

6 希望職種

— 高校卒はパート、大学卒は自由業 —

無職主婦が勤くとすれば、どんな職種を望んでいるのであろうか。全体の平均は下表の通りである。

パートタイマーが4割近くもあり、内職を合すると50%を超える。彼女達の大半は、自己実現や生きがいを職に求める気が全くないと見るべきであろう。しかし、これは、学歴によって異なり、学歴の低い人は、「内職・パート指向」となり、学歴の高い人は「常勤・有資格フリー指向」と二つの方向に分れる。

表一六 無職主婦の希望職種

希望職種		常勤 正社員	パート タイマー	店経営 習い事 先生	内職	有資格 フリー 職	全く仕事 をしたく ない
属性							
全体の平均値		7.5%	38.8%	10.7%	12.9%	21.0%	6.6%
最終学歴	中 学	5.9	58.8	0	23.5	0	11.8
	高 校	6.9	44.9	10.9	14.6	14.3	5.6
	短 大	7.0	25.6	11.6	11.6	30.2	11.6
	専 門	4.4	20.0	20.0	6.7	37.8	8.9
	4年制(文)	13.8	17.2	3.5	0	58.6	3.5
	4年制(理)	22.2	11.1	0	0	55.6	11.1

7 希望収入

—上野夫人は控えめ、新宿夫人は高め—

無職主婦がもし働いたときに、どの程度の収入を望んでいるか。
全体の平均は下表の通りである。

	3万円未満	3万円～	6万円～	10万円～	15万円～	無解答	平均額
比率%	5.0	36.9	32.6	15.6	7.6	2.3	7.8万

希望収入を学歴別にみるとやはり高学歴になる程高くなっている。

最終学歴	中学	高校	専門校	短大	4年制大	同文化系	同理科系
平均希望収入 万円	5.9	7.2	9.3	9.5	10.8	10.5	11.8

また、これを買物に行くデパート、専門店の場所によってみると希望収入は異なる。

買物場所	浅草・上野	池袋・赤羽	大宮・浦和	渋谷・青山	銀座・日本橋	新宿
平均希望収入 万円	6.4	6.7	7.7	8.2	8.7	9.1